

平成24年度 第10回教育研究評議会（定例）

日 時 平成24年12月5日（水） 13:30～
場 所 鳳龍会館 会議室

〔審議事項〕

- (1) 教育職員の選考について
- (2) 教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について
- (3) 技術職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について
- (4) 九州工業大学社会ロボット具現化センター規則の制定について
- (5) 九州工業大学学則の一部改正について
- (6) 九州工業大学副学長規則の一部改正について
- (7) 九州工業大学学寮管理運営規則等の一部改正について
- (8) 寄附講座の継続設置について
- (9) 大学間国際交流協定の締結について

〔報告事項〕

- (1) 生命体工学研究科生体機能専攻の協力講座担当教員について
- (2) 人事院勧告の取扱い及び国家公務員退職手当法の改正について
- (3) 九州工業大学職員評価に関する表彰規程の制定について
- (4) 平成24年度卒業証書・学位記授与式及び平成25年度入学式について
- (5) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
- (6) 「平成24年度の年度計画の暫定評価の実施」及び「平成25年度の年度計画案の作成」について（依頼）
- (7) 平成24年度九州工業大学における冬季節電について
- (8) 平成25年度科学研究費助成事業－科研費－の申請状況について
- (9) 平成24年度後期授業料免除者の選考について
- (10) 部局間国際交流協定の締結について
- (11) 平成25年度入学試験実施組織について
- (12) 平成25年度推薦入試出願状況及び帰国子女特別入試出願状況について

〔その他〕

平成24年度 第10回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 平成24年12月5日（水）13:30～16:17
2. 場 所 鳳龍会館 会議室
3. 出席者 学長，理事（評価・総務・財務担当），理事（教育・情報担当），
理事（研究・産学連携担当），理事（経営戦略担当），
副学長（学生担当），副学長（国際担当），副学長（入試担当），
副学長（事務統括・労務担当），
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
副工学研究院長（副工学部長），副情報工学研院長（副情報工学府長），
三谷教授，白井教授
4. 列席者 学長特別補佐（広報担当），学長特別補佐（評価担当）

5. 黙 禱

会議開催に先立ち，12月1日に逝去された副生命体工学研究科長に対する黙禱が行われた。

6. 議事要旨確認

平成24年度第9回（平成24年11月7日）教育研究評議会の議事要旨（案）について確認が行われ，了承された。

7. 審議事項

(1) 教育職員の選考について

工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長より次の教育職員の選考について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承され，役員会に付議することとした。

○工学研究院 人間科学系 人間科学部門 講師 1名（任期なし）

○情報工学研究院 生命情報工学研究系 生命情報工学部門
教授 1名（任期なし）

○生命体工学研究科 脳情報専攻 脳型情報処理機械講座（A）
准教授 1名（任期なし）

○生命体工学研究科 脳情報専攻 脳型情報処理機械講座（B）
准教授 1名（任期なし）

(2) 教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について

学長より，本日の役員会で設置が決定された教育職員選考委員会のうち，教育研究評議会の指名する委員の選出について説明があり，審議の結果，了承された。

○工学研究院 機械知能工学研究系 機械工学部門 助教 1名（任期なし）

○情報工学研究院 人間科学系 人間科学部門 教授 1名（任期なし）

(3) 技術職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について

学長より、本日の役員会で設置が決定された技術職員選考委員会のうち、教育研究評議会の指名する委員の選出について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、採用に際しては若松キャンパスに固定せず、状況を見ながら各キャンパスへ配置換えしていく旨、説明があった。

○保健センター 保健師 1名（任期なし）

(4) 九州工業大学社会ロボット具現化センター規則の制定について

学長より、全学のロボティクス関連センターがなかったため、社会ロボット具現化センターを設置し、関連する学内規則等を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとした。

なお、次のとおり補足説明があった。

- ・地域企業の社会人を受け入れ、ロボット教育を行うとともに企業との研究開発を想定している。

- ・センターについては、毎年評価を行い4～5年おきに見直しをかける。

制定日：平成24年12月 5日

施行日：平成25年 4月 1日

(5) 九州工業大学学則の一部改正について

学務課長より、授業の15週確保のため9月下旬より後期が開始できるよう、学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとした。

併せて、平成25年度の学年暦について報告があり、情報工学部のみが9月下旬より後期を開始する旨、説明があった。

制定日：平成24年12月 5日

施行日：平成24年12月 5日

(6) 九州工業大学副学長規則の一部改正について

総務課長より、非常勤の副学長を置くことができるよう、副学長規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとした。

制定日：平成24年12月 5日

施行日：平成24年12月 5日

(7) 九州工業大学学寮管理運営規則等の一部改正について

学務課長より、戸畑キャンパス学生寮「明専寮」を平成25年4月に開設することに伴い、学寮管理運営規則及び関連する学内規則等の一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとした。

制定日：平成24年12月 5日

施行日：平成25年 4月 1日

(8) 寄附講座の継続設置について

理事（研究・産学連携担当）より、千寿製薬㈱から申し込みのあった情報工学府への寄附講座「眼科治療システム講座」の継続設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(9) 大学間国際交流協定の締結について

副学長（国際担当）より、次の大学との大学間国際交流協定（新規）を締結することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

①クラウスタール工科大学（ドイツ）

②マレーシア国民大学（マレーシア）

8. 報告事項

(1) 生命体工学研究科生体機能専攻の協力講座担当教員について

学長より、先月の役員会にて了承された協力講座担当教員の大学院資格審査の結果について、修士は主指導、博士は指導補助となった旨、報告があった。

なお、来年度より大学院担当による手当については、実際に博士課程学生を指導する教員に手当を支給するように改正予定であるため、各部局において博士課程のD
Ⓔ 審査を早急に対応していただきたい旨の依頼があった。

(2) 人事院勧告の取扱い及び国家公務員退職手当法の改正について

人事課長より、人事院勧告に伴う55歳を超える職員の昇給停止については、平成26年4月より実施する予定で閣議決定し、今後は動向を見ながら検討していく旨報告があった。

国家公務員退職手当法については、改正法案が成立したため、今後本学においても職員退職手当規程を退職手当法と同様に改正していくことについて報告があった。

なお、国家公務員の早期退職制度の改正については、実施予定であるがまだ成立しておらず成立され次第、これに対応した本学の早期退職に関する規程の改正を行う。

(3) 九州工業大学職員評価に関する表彰規程の制定について

理事（評価・総務・財務担当）より、職員評価に基づいて表彰ができるように表彰

規程を制定したことについて報告があった。

なお、教育職員については来年早々にも表彰を行う旨、説明があった。

- (4) 平成24年度卒業証書・学位記授与式及び平成25年度入学式について
総務課長より、卒業証書・学位記授与式を平成25年3月25日に、入学式を平成25年4月4日に挙行することについて報告があった。
- (5) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
理事（評価・総務・財務担当）より、資料に基づき平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。
- (6) 「平成24年度の年度計画の暫定評価の実施」及び「平成25年度の年度計画案の作成」について（依頼）
理事（評価・総務・財務担当）より、「平成24年度の年度計画の暫定評価の実施」及び「平成25年度の年度計画案の作成」の依頼を行ったことについて報告があった。
- (7) 平成24年度九州工業大学における冬季節電について
会計課長より、資料に基づき文部科学省から電力需要対策抑制の取り組みについて要請があり、本学においても昨年と同様の冬季節電の取り組みについて依頼を行った旨、報告があった。
なお、九州電力が大口企業向けに電気料金の値上げを来年4月より検討しており、来年度は大幅な電気料金の支出が予想されるため、節電強化に向けての対策を協議していきたい旨、学長より説明があった。
- (8) 平成25年度科学研究費助成事業－科研費－の申請状況について
理事（研究・産学連携担当）より、資料に基づき平成25年度科学研究費助成事業への申請状況について報告があった。
- (9) 平成24年度後期授業料免除者の選考について
学務課長より、資料に基づき平成24年度後期授業料免除者の選考を行ったことについて報告があった。
- (10) 部局間国際交流協定の締結について
工学研究院長より、次の大学との部局間国際交流協定（新規）を締結したことについて報告があった。
- ①工学部・工学府と国立成功大学理学院（台湾）
 - ②工学部・工学府と国立成功大学電機資迅学院（台湾）
 - ③工学府とパリ高等機械工学院（フランス）

なお、次のとおり意見等があった。

- ・ダブルディグリーについては、国際課で把握しておく必要があるため、全学の教育委員会に報告していただきたい。
- ・協定調書によっては大学ランキングに違いがあるため、大学ランキングの掲載については調整のうえ検討していきたい。
- ・大学ランキングを上げるためには、サイテーションの数が研究面で最も重要であり、教員に占める外国人数、学生と教員の比率、学生に占める外国人留学生数、外部資金の獲得等がある。

(11) 平成25年度入学試験実施組織について

副学長（入試担当）より、資料に基づき平成25年度入学試験（センター試験、前期日程、後期日程）の実施組織について報告があった。

なお、監督者説明会については、大学入試センターより監督者全員が説明会を受けるように要請があったため、説明会の予備日を設けている旨、説明があった。

また、2科目受験を受ける試験室については、1名人員を追加するよう要請がきており事務職員で対応する予定であるが、足りない場合は技術職員、教育職員に協力をお願いしたい旨、学長より依頼があった。

(12) 平成25年度推薦入試出願状況及び帰国子女特別入試出願状況について

副学長（入試担当）より、推薦入試及び帰国子女特別入試の出願状況について、12月6日の入学試験委員会で合格者の選考を行い、12月7日に合格発表を行うことについて報告があった。

また、今回の入試データについては来年の広報戦略のために使用する旨、学長より説明があった。

9. その他

(1) 博士課程担当の資格審査に関する規則等が整備されてなかったため、資格審査の定義について近いうちに戦略会議にて協議していく予定である旨、報告があった。

(2) 教育研究評議会の次回開催日について

平成25年1月9日（水）13：30より鳳龍会館会議室にて開催する予定。

(3) 副生命体工学研究科長の逝去に伴い、担当されていた教育職員選考委員会の委員の変更について、12月中に臨時の教育研究評議会を開催する旨、報告があった。